

【概要】

有機化合物からなる医薬品や生体分子の物性並びに反応性は、構造中のある特定の官能基に起因するといっても過言ではない。本講義では基礎有機化学と有機化学 並びに有機化学 で修得した知識に基づき、医薬品の構造中に数多く見られるカルボニル基（アルデヒド、ケトン、カルボン酸誘導体）の物理的並びに化学的性質について学ぶ。そして分子レベルでの医薬品の作用機序を理解するための基本的な学力を修得することを目的とする。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による